

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】平成27年6月18日(2015.6.18)

【公開番号】特開2013-240302(P2013-240302A)

【公開日】平成25年12月5日(2013.12.5)

【年通号数】公開・登録公報2013-065

【出願番号】特願2012-116255(P2012-116255)

【国際特許分類】

C 12 M 1/00 (2006.01)

B 01 J 19/00 (2006.01)

【F I】

C 12 M 1/00 A

B 01 J 19/00 3 2 1

【手続補正書】

【提出日】平成27年4月23日(2015.4.23)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

反応液と、前記反応液とは比重が異なり、かつ前記反応液とは混和しない液体と、が充填され、前記反応液が移動する流路を有する容器と、前記流路を封止したとき前記容器内部に向かって窪む凹部を有する封止部と、を含む反応容器を装着可能な装着部と、

前記装着部に前記反応容器が装着された場合に、前記流路の第1領域を加熱する第1加熱部と、

前記装着部に前記反応容器が装着された場合に、前記封止部を加熱する第2加熱部と、前記第1及び第2加熱部並びに前記装着部の配置を、第1の配置と、第2の配置との間で切り換える駆動機構と、

を含み、

前記第1の配置は、前記装着部に前記反応容器が装着された場合に、前記第1領域が、重力の作用する方向における前記流路の最下部に位置する配置であり、

前記第2の配置は、前記装着部に前記反応容器が装着された場合に、前記反応液が移動する方向における位置が前記第1領域とは異なる前記流路の第2領域が、重力の作用する方向における前記流路の最下部に位置する配置であり、

前記第2加熱部は、前記装着部に前記反応容器が装着された場合に、前記凹部に接触する突起部を含む熱サイクル装置。

【請求項2】

請求項1に記載の熱サイクル装置において、

前記装着部に前記反応容器が装着された場合に、前記突起部は、前記凹部に挿入される熱サイクル装置。

【請求項3】

請求項2に記載の熱サイクル装置において、

前記突起部に、グリースが塗布される熱サイクル装置。

【請求項4】

請求項1ないし3のいずれか1項に記載の熱サイクル装置において、

前記第2加熱部を覆うカバーを有する熱サイクル装置。